

経済危機克服のための有識者会合

平成21年3月21日

テルモ株式会社

和地 孝

「医療を起爆剤とした経済政策」

- 医療は関連産業を含め60兆円市場
- 医療従事者は約260万人と雇用の大きな受け皿
- 医療への投資は、世界の人々を救えるだけでなく、経済活性化にも大きく寄与する
- 「医療崩壊」解決への一助となる

短期策

- 1) 新型インフルエンザ対策の強化
- 2) 医療事故撲滅と質向上への投資

中長期策

- 1) 日本独自のメディカル・ツーリズム
- 2) 日本の得意分野への研究開発投資の強化

医療体制充実への支援

短期策

1) 新型インフルエンザ対策の強化

1) プレパンデミックワクチンの確保と接種

- 全国民分の原液備蓄
- 安全性を確認後、速やかな製剤化と接種
- ワクチン投与に必要な機器の備蓄

1500億円



2) 全家庭に感染防止キットの配布

(5000万世帯)

マスク、保護用めがね
うがい薬、消毒剤
体温計 など

2500億円

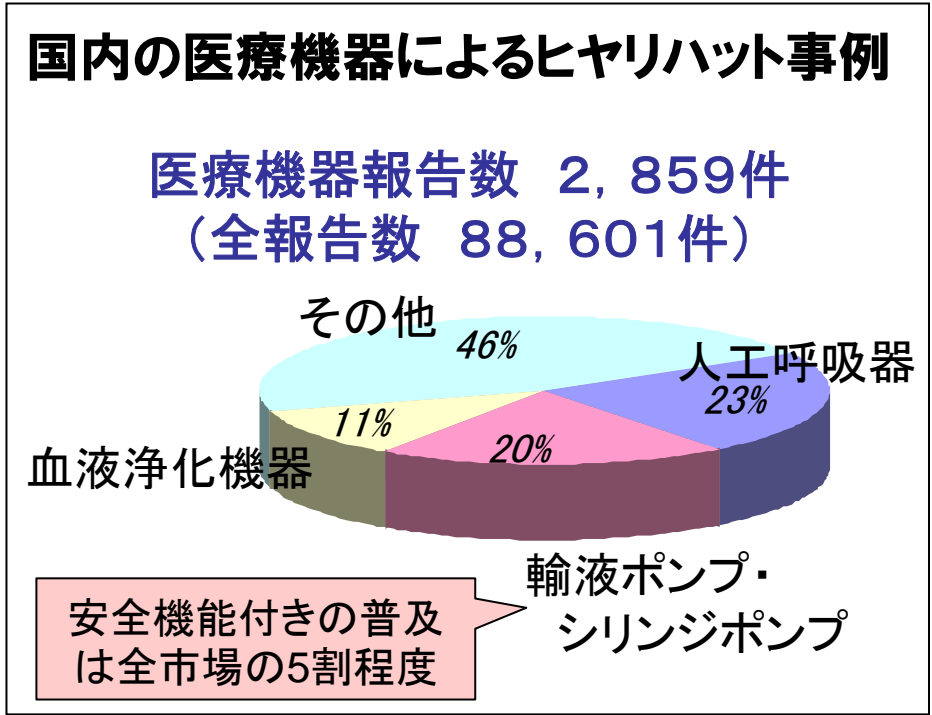


3) パンデミックワクチンの技術確立に向けた開発投資

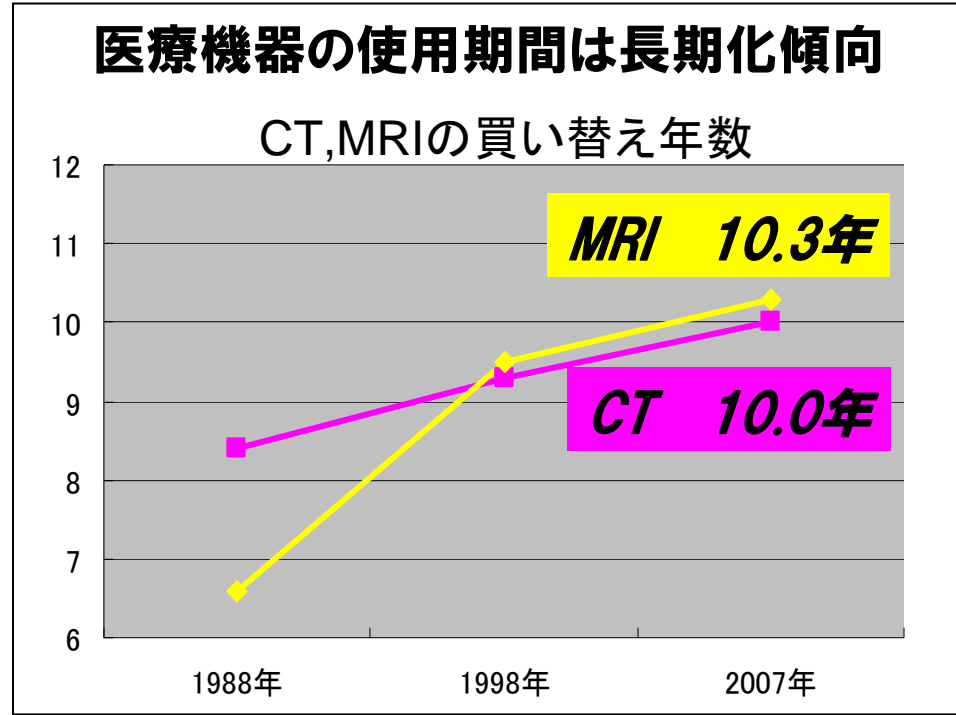
- 新ワクチンの開発
- 新投与機器の開発

短期策

2) 医療事故撲滅と質向上への投資



平成16年4月～9月 厚生労働省調査より



社団法人 日本画像医療システム工業会レポートより



- 安全機能付き機器への買い替え支援
- 長期使用機器の買い替え支援

} 1000億円

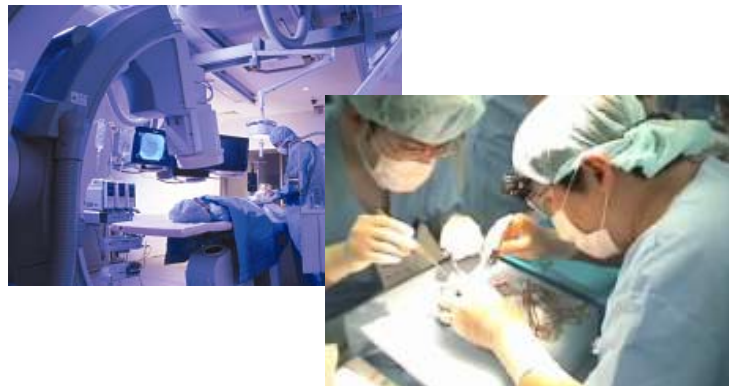
中長期策

1) 日本独自の

メディカル・ツーリズム

- 「健康長寿」ブランドの最先端長寿医療拠点を設立
 - － 海外からの患者受入れ
 - － 特区による規制緩和
 - － 内視鏡手術、再生医療、粒子線がん治療、など
- 「健康長寿 探求の旅」で海外旅行者を倍増する
 - － 現状:外国人観光客 約800万人<日本人海外旅行者 約1700万人

アジアの最先端長寿医療拠点



+

健康長寿の源



中長期策

2)日本の得意分野への 研究開発投資の強化

- 日本が先頭を走る研究開発分野へ、継続的かつ集中的な投資を

内視鏡技術



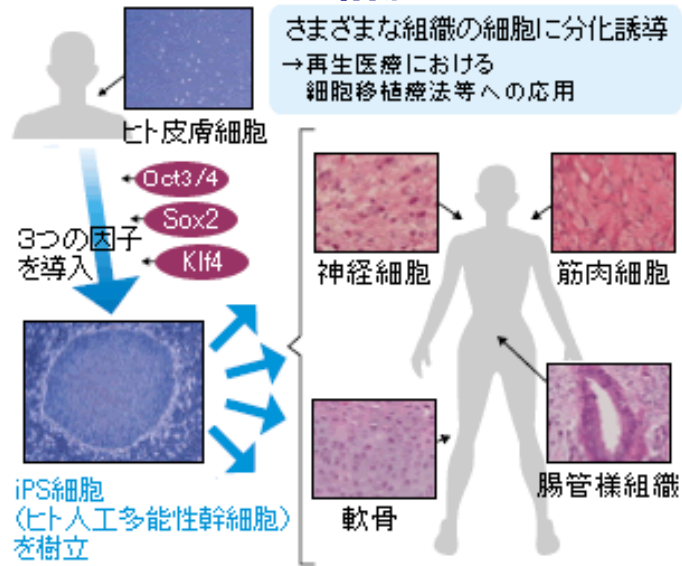
「マルチタスク内視鏡システム」
コンセプトモデル(オリンパス社HPより)

人工臓器



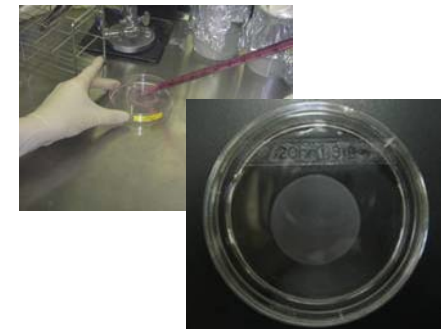
「左心補助人工心臓 DuraHeart」
(テルモ社HPより)

iPS細胞



(独立行政法人科学技術振興機構HPより)

再生医療



ロボット



「ロボットスーツHAL」
(CYBERDYNE社HPより)